

## 令和6年度事業計画

### 1. たくま荘デイサービスセンターの浴室改修について

タイルの浮きや剥落の劣化等で老朽化しているたくま荘デイサービスセンターの浴室の改修を行います。大型浴槽から据え置き型のヒノキの個浴槽に変更します。一人でゆっくり湯船に浸かるという当たり前の入浴で、利用者様の日常生活動作の維持向上と入浴の満足度向上を図ります。改修工事については、休業期間を短縮するための工法を採用します。改修後には、水道使用量の減少とボイラー及び循環ろ過装置の小型化により、ランニングコストの削減が期待できます。

### 2. デイサービスセンターの統合検討について

詫間福祉会でのデイサービス事業の現状について、たくま荘は利用者数が維持できていますが、おおはま荘では利用者が漸次減少しております。このことについては、引き続き地域の方にデイサービスの取り組みを発信し、利用者増加に努めていますが、荘内地区の高齢者人口の推計によると、利用者の増加をはかることが益々困難になることが予想されます。将来のデイサービス事業の職員不足を解消しつつ、サービスの向上を図る目的として、詫間福祉会の2か所のデイサービス事業統合を検討してまいります。

### 3. パソコンの更新および介護テクノロジーの導入について

介護業務用ノートパソコン33台分の耐用年数が超え、処理能力が低下していますので、介護ソフトの運用の効率化を図るために更新します。

利用者に喜んでいただく介護を行うためには、まず職員ファーストであることが不可欠です。職員の負担を軽減させるために、介護ソフトとの連携を充実させる介護テクノロジーの導入を推進していきます。特に夜間勤務職員の少ないおおはま荘から見守りカメラの設置、インカム、介護リフト等の導入を行います。それにより、緊急時にも職員同士、直ぐに対応できるようにして、利用者様への適切な対応が図れることができるようにします。

### 4. 介護職員の能力向上と働きやすい環境づくり

介護職員の能力向上を目指して部署ごとに計画した研修計画に基づき本年度も特に感

染防止の職場研修を実施します。

また、指揮命令系統と責任の所在を明確化し、職務の重複や責任の曖昧さを減少させ、また、ストレスや混乱を軽減せることにより、経験の浅い職員の負担を軽減し、自己実現達成感を得るための働きやすい環境をつくることに重点を置きます。

令和6年2月に計画の前倒しで外国人特定技能者を2名採用しております。「介護」という志を同じくする仲間のために、言葉と文化の違いなど不安要素を解消するため、日本人職員の手厚いサポートでグローバルな介護現場を創ってまいります。

## 5. 新型コロナウイルス感染症対策について

令和5年度も職員・関係者の感染対策の努力にも関わらず1月にケアハウス、たくま荘でクラスターが発生し、長期にわたり、利用者様、ご家族様に面会制限等を実施し、ご心配とご迷惑をおかけしました。このように、ひとたび施設内で感染がおこるとクラスターとなり終息までに長期間を要し、緊張と不安が続き、かなりの労力と費用をつぎ込んでいる現状があります。

このことを踏まえて、令和5年5月から新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」となっておりますが、重症化するリスクの高い高齢者施設でありますので、法人として職員とともに引き続き適正に注意深く感染予防に努めてまいります。

## 6. 部署別事業計画及び事業目標

特別養護老人ホームたくま荘

- (1) 年間入所率 95%以上、ショートステイ利用率 80%以上を目標とします。
- (2) 新型コロナウイルス感染症等予防に努めます。

地域密着型特別養護老人ホームおおはま荘

- (1) 年間入居率を 95%とします。
- (2) ショートステイの目標利用率を 75%とします。

たくま荘デイサービスセンター

- (1) 日々利用者様の様子観察を行い、体調異変を察知し、迅速に初期対応を行います。
- (2) 平均利用人数 1日 25 人を目標とします。

大浜デイサービスセンター

- (1) 快適に過ごしていただく環境づくりを行います。
- (2) 平均利用人数1日15人以上を目標とします。

#### ケアハウスたくま

- (1) 入居者のADL・QOLの維持に努めます。
- (2) 新規入居者の確保に努め、現在の入居者に長くケアハウスで生活していただけるような環境をつくれます。

#### 居宅介護支援事業所たくま荘

- (1) 毎月の利用者数190人以上を目標とします。